

～町の消防隊～  
金山さんち!



金山にも過去に婦人消防隊があって 作者:小栗こぐり  
全国大会にも行ってたそうですよ 凄いですね!

森の子ども図書コーナー No.150

交流サロンぼすと内



『へいわって すてきだね』  
安里有生/作  
長谷川義史/画  
(ブロンズ新社)

「へいわって なにかな、ぼくは  
かんがえたよ。これからもずっと  
へいわがつづくように、ぼくも  
くのできることをがんばるよー」  
この詩は、日本で一番西にある沖縄  
県与那国町立久良部小学校1年生の  
安里有生くんが書いたもの。沖縄県  
平和記念資料館がつつた平和メッ  
セージによせた詩で沖縄全戦没者追  
悼式で安里君が朗読しました。そし  
てこの絵を担当したのは、「いいか  
らいから」などの絵本で有名な長  
谷川義史氏。この二人は与那国島で  
対面を果たしています。皆さんも  
へいわはどこから生まれるのか、  
ちよつと考えてみませんか。

「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



A I vs.教科書が読めない子どもたち

- 凶犬の眼 / 新井紀子
- おまじない / 柚月裕子
- ざんねんないきもの事典・ / 西加奈子
- 続ざんねんないきもの事典 / 今泉忠明
- 玉村警部補の巡礼 / 海堂尊
- にらみ / 長岡弘樹
- ストーリーで楽しく身につくことわざ大百科 / 深谷圭助監修
- 完璧じゃない、あたしたち / 王谷晶
- 青くて痛くて脆い / 住野よる
- 死ぬほど好きだから死なねーよ / 石井遼一
- アナグラムで遊ぼう けんじのじけん / ささきあり
- 回文で遊ぼう きしゃのやしき / 間部香代



『A I vs.教科書が読めない子どもたち』  
(新井紀子/東洋経済新報社)

AI(人工知能)が、すでにMAR  
CH合格レベル?大規模な調査の結  
果わかった驚愕の実態。日本の中高  
校生の多くは、中学校の教科書の文  
章を正確に理解できない、多くの仕  
事がAIに代替される将来、読解力  
のない人間は失業するしかない、気  
鋭の数学者が導き出した最悪のシナ  
リオと教育への提言。



『にらみ』  
(長岡弘樹/光文社)

「にらみ」とは、刑事が公判を傍聴し、  
被告人が供述を翻したりしないよ  
う、無言で圧力をかけること。仮  
釈放中に別の容疑で逮捕された保原  
尚道。取り調べ担当の片平は、四年  
前の保原の裁判で「にらみ」をして  
いて面識があった。山形県出身の作  
家・長岡弘樹氏の極上ミステリー七  
編を収録。

山形大学の地域連携型サークル「Team道草」  
道草だよりでは、彼らの町内での活動を紹介!  
「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します



先日鯉のあらいをいただきました!  
大学生「なぜ鯉を食べるの?」  
地区の方「え?食べないの?」  
とのギャップに皆さん大笑い。  
初めて食べる鯉はプリプリで衝撃の  
美味しさでした!

かねやま 食! / ショック



道草便り Vol.2

桜の花が散り始めた4月30  
日、金山川の近くに建つ彩印工  
房に訪れました。彩印工房は看  
板制作と塗装を行う会社であ  
り、町内にある看板を多数手掛  
けられたそうです。社長の伊藤  
さんは私たちがあたたかく迎え  
てくださいました。

絵を描くのが大好きな伊藤さ  
ん。仕事を楽しくしている姿がと  
ても印象的でした。また、ペン  
キ塗りやトタン加工など大工  
や板金屋のような仕事をするこ  
ともあり多才な方です。作業場  
にはいろんな種類の機械が置い  
てあり、私たちは「すごい」の  
一言。外の自然豊かなさとのギャ  
ップに驚きました。

ぶんげい

金山杉俳句会報 第四十六回

- 星川 きえ子  
雛のかお孫に見えしや宵の月  
花冷えや神室の湯音枕まで
- 岸 あき子  
寄せ植えの甘い香りのヒヤシンス  
茎立ちや雪の下からたくましく
- 高橋 洋子  
野に遊ぶ濃染の布を肩にかけ  
せせらぎに色を添えたり露の臺
- 鵜沼 よし子  
捨て猫の悲しきまでに甘え来る  
もの減らすことに徹する四月馬鹿
- 伊藤 敏子  
春愁や老の眼鏡を置き忘れ  
早春や吊られし絵馬に風の音
- 阿部 サタエ  
転校児ふり返り行く鳥曇  
立雛は引目美人におはすかな
- 荒屋 阿部 勝子  
老ふたり話題はなさぬ寒椿  
木の芽とき気遣ふ風の軟らかし
- 荒屋 関 喜美子  
花盛り想ひ出辿るがっこ跡  
花に酔ひ唄も踊りも童なり
- 菅越 庄司 けみ子  
焼け跡に降る桜しべ客もどる  
湧く清水ふまへて盛る山わさび
- 七日町 青柳 キエ子  
江戸っ子を気取る威勢や花の宴  
気付かない振りも世の常花おぼろ
- 七日町 柴田 栖静  
不揃ひのうぐいす餅や味のよく  
二輪草愛を告げたる川の岸
- 羽場 坂本 徳太郎  
ヘルメットはにかむ笑顔新入生  
一輪の蠟客の足の枷
- 上台 阿部 一  
早蕨を求めて並ぶ県外車  
田に畑に山も賑はふ五月空
- 七日町 村松 奈風  
薫風や郷へ活気のピーナッツ  
神室嶺を仰ぐ川瀬の轍鯉